

令和8年度 シラバス

教科	国語	科目	近代文学講読	必修・選択	単位数	2
教科書・副教材等	「三四郎」「人間失格」「死者の奢り・飼育」（新潮文庫）					
学習の到達目標	近代の主要な文学作品の読解を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 近代の代表的な作家の作品を読み比べることを通して、国語の特質を理解し適切に使うことができるようにする。 (2) 一つの作品を深く読み解き、その表現を味わうことを通して、伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。 (3) 明治以降の文学の変遷を学ぶことを通して、言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。					
評価の観点	a. 知識・技能	b. 思考・判断・表現		c. 主体的に取り組む態度		
	近代の代表的な作家の作品を読み比べることを通して、国語の特質を理解し適切に使うことができるようにしている。	一つの作品を深く読み解き、その表現を味わうことを通して、伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばすことができるようにしている。		明治以降の文学の変遷を学ぶことを通して、言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養おうとしている。		
評価の方法	上記3つの観点について、授業への出席状況、授業中の態度、課題等の提出状況、発表の仕方や内容、定期考査等から総合的に評価を行う。					
	単元		主な学習内容			
前期	1 近代文学史 近代文学の流れ		ア 近代前期の文学 イ 近代後期の文学			
中期	2 夏目漱石 『三四郎』 (1) 内容読解		段落ごとに話し合い、読みを深める。 ア 汽車の女 イ 池の女 ウ 広田先生 エ 3つの世界 オ 白い雲と迷い子 カ 「囚われる」 キ 無意識なる偽善 ク 絵の中の美彌子 ケ 森の中の女 コ 森の女 ア 生い立ち イ 『三四郎』の位置付け 全体を通して作者の思想を考える。			
	(2) 作者について (3) 作品の鑑賞					
後期	3 太宰治 『人間失格』 (1) 内容読解		段落ごとに話し合い、読みを深める。 ア 3枚の写真 イ 少年時代 ウ 竹一の予言と最初の自殺 エ 家出とシズ子との同棲 オ ヨシ子との結婚 カ 堀木との付き合い キ 罪のアントニム ク 二度目の自殺と入院 ケ 退院後の生活 ア 生い立ち イ 『人間失格』の位置付け 全体を通して作者の思想を考える。			
	(2) 作者について (3) 作品の鑑賞					
	4 大江健三郎 『飼育』 (1) 内容読解		段落ごとに話し合い、読みを深める。 ア 「僕ら」の生活 イ 黒人兵という《獲物》 ウ 子供達の心理の変化 エ 泉での水浴びによる触れ合い オ 黒人兵の抵抗と「僕」の心理 カ 黒人兵の死と書記の死 ア 生い立ち イ 『飼育』の位置付け 全体を通して作者の思想を考える。			
	(2) 作者について (3) 作品の鑑賞					